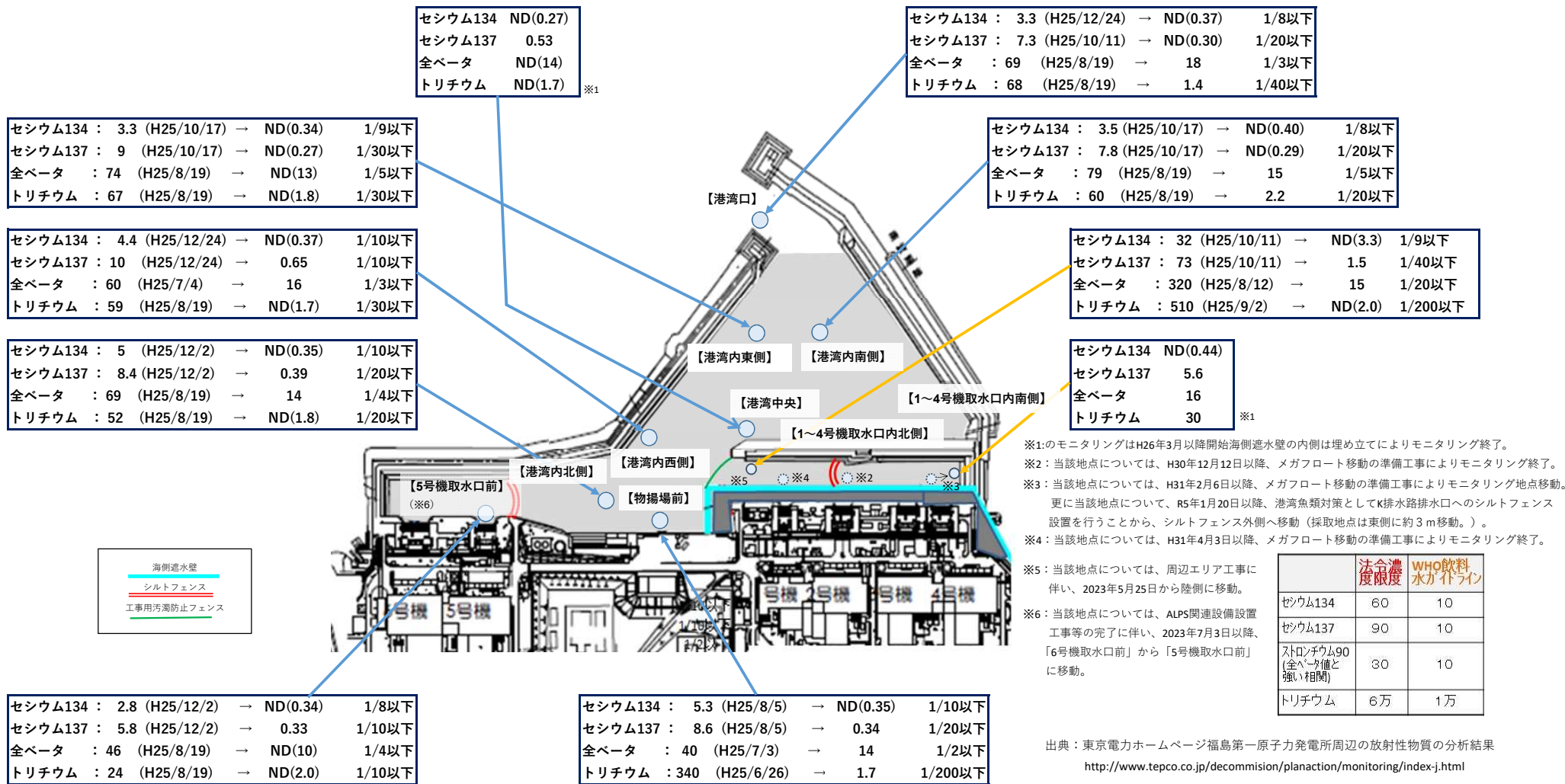


## 港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(6/3-7/22採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和6年7月23日までの東電データまとめ

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる。



# 港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 6/3 - 7/22採取）

令和6年7月23日までの東電データまとめ

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90 (全ベータ値と強い相関)	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.39)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.26)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	-

【港湾口東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.35)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.25) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	- 1/10以下

【港湾口南東側(沖合1 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.30)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.27)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	-

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.28)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.32)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	- 1/10以下

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.37) 1/8以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.30) 1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	18 1/3以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	1.4 1/40以下

【北防波堤北側(沖合0.5 km)】

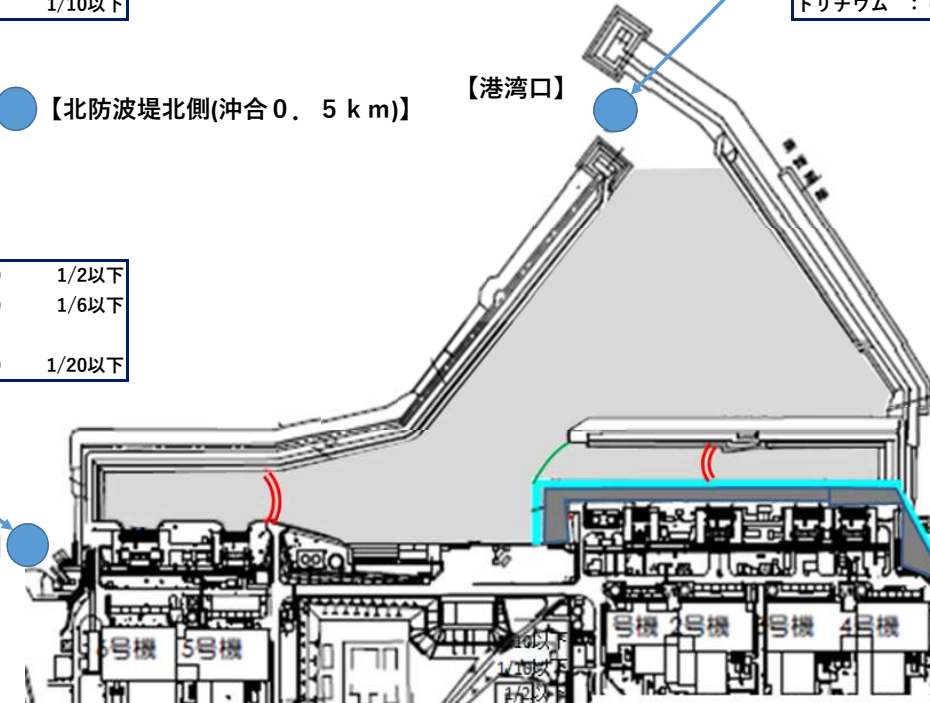
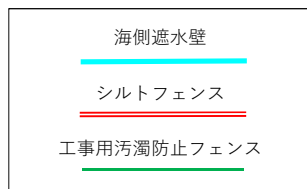
セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.90) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.71) 1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	9.3
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	ND(0.30) 1/20以下

【港湾口】

【南防波堤南側(沖合0.5 km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.35)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.26)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	-

【5,6号機放水口北側】



セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.90)
セシウム137	: 3 (H25/7/15)	→	ND(0.71) 1/4以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23)	→	5.2 1/2以下
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25)	→	ND(0.29) 1/2以下

【南放水口付近(※)】

注：海水の全ベータ測定値には、天然のカリウム40（12ベクレル/リットル程度）によるものが含まれている。また、ストロンチウム90と放射平衡となるイットリウム90の寄与が含まれる

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。